



『行政自治会だより』は古河市公式ホームページ（市民協働課）からご覧いただけます。

回覧

行政自治会だより

令和8年1月30日発行

第43号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 小川 久雄

新年のごあいさつ



古河市行政自治会

会長 小川 久雄

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては穏やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、昨年中は古河市行政自治会の活動に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年は午年、動物では「馬」が象徴とされています。馬は古くから人々の暮らしに寄り添い、移動や農作業を助ける存在として親しまれてきました。こうした背景から、午年は「行動力」「活発さ」「前向きに進む力」を表す年とされています。

さて、昨今、全国的に問題になっております自治会、行政区の会員離れでございます。古河市でも行政自治会での重要課題です。この様な中ですが、昨年は自治会、行政区、地区コミュニティを中心とした行事が各地で開催され、連日のように古河ケーブルテレビにお

いて三世代交流会やお祭り・防災訓練等が放映されていきました。このようなことは非常に大切な事ですので、ますます会員同士のコミュニケーションを深めていき、加入促進につなげていただくようお願いいたします。

行政自治会としましては6月にソフトボール大会、8月にバレーボール大会を開催し、多くの自治会・行政区が参加し、大変盛り上がりしました。

また、4月の自治会長・行政区長認証書交付式の際に講演会、6月には地区長・副地区長視察研修、10月には自治会長・行政区長視察研修を行い、特に加入促進に向けての研修を取り入れ実施し、各自治会長・行政区長さんも熱心に聞いて、併せて情報交換会を行いました。2月には各地区コミュニティと合同研修を行います。参考にして「馬」のように活発に、前向きに、行動をしていただきたいと思います。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、より良い年になります様祈念して年頭のあいさつとさせていただきます。

茨城県消防ポンプ操法競技大会 県西地区大会 優勝



令和7年10月5日（日）、筑西市ヒロサワ運動公園で実施された「第76回茨城県消防ポンプ操法競技大会 県西地区大会」（古河市・桜川市・常総市が参加）において、古河市選抜チーム（第19、20、21分団）が日頃の訓練成果を十分発揮され、見事優勝の栄冠に輝きました。栄光を祝します。チーム編成は6名編成で出場選手は以下の通りです。

指揮者 竹内 一文（19分団） 1番員 木村 和成（19分団）
2番員 鈴木 啓太（21分団） 3番員 関根 佑貴（21分団）
4番員 齊藤 隼人（19分団） 補助員 渡邊 英樹（20分団）
優秀選手として以下の方が表彰されました。

竹内 一文（19分団） 木村 和成（19分団）
齊藤 隼人（19分団） 関根 佑貴（21分団）

古河市において頼もしい限りです。今後の活躍を期待します。

（広報委員 梅津 信男）

自治会長・行政区長視察研修

令和7年10月24日・25日の2日間、福島県白河市において自治会長・行政区長視察研修が開催され、参加してまいりました。

講師は、一般社団法人未来の準備室理事長の青砥^{あおと}希氏で「若者の地域参画と自治会運営の負担軽減」をテーマとしてご講演いただきました。青砥氏からは、高校生が気軽に集まれるコミュニティ・カフェ「EMANON -エマノン-」を拠点に、若者の「やってみたい」を地域活動につなげる取り組みを紹介いただきました。取り組みでは、①居場所づくり②活動拠点③地域との橋渡しを3つの柱にし、世代を超えた交流を生み出しています。

また、若者の参加を促すためには「まずは関わりやすく、小さな成功体験を重ねること」が大切だと話されました。さらに、紙の配布に頼らないデジタルを活用することで、役員の負担を減らす工夫も学びました。

地域を未来へつなぐために、若者も大人も一緒に関わり合える仕組みづくりの必要性を実感した研修でした。

(広報委員 秋山 和彦)



講師の青砥氏



参加者（1号車バス）の皆さんと針谷市長



参加者（2号車バス）の皆さんと針谷市長

第28回名の崎まつり開催

令和7年8月23日（土）、第20地区（名崎地区）の最大のイベントである「名の崎まつり」が今年もバージョンアップして開催されました。お囃子会（三和郷土芸能保存会 恩名・下尾崎・瀬戸屋敷・下内支部）、神輿会・下神会の参加により、子ども神輿を担いだりと刺激的な感動体験ができました。小学生・中学生のアンケート要望により、キッチンカー・模擬店も増えました。

①連帯意識、地域のつながり、人間関係の大切さや普段感じることの少ない豊かな感情や喜びを体験しました。

②隣人、友人、家族と一緒に集まり笑顔で会話をし、楽しむことができました。

今後は、若者や子育て世代の皆さんが「名の崎まつり」の素晴らしさ、ワクワク・ドキドキ体験や「こんなものがあたらいいよね」など、SNSでどんどん発信することで、もっとつながり、広がりそして永続していきたいです。

(広報委員 永井 行男)



いなせで元気いっぱいのお囃子会の皆さん



調和とリズム感抜群のキッズダンス

間中橋 秋まつりの開催

～ 実り・収穫の秋に感謝 そして来年の豊作祈願 ～

令和7年9月14日（日）、間中橋の長命寺公園で間中橋秋まつり（間中橋行政区）を開催し「ガマの油売り口上」「盆踊り」「フラダンス」「輪投げ」「太鼓・ジャズ・大正琴の演奏」「屋台（キッチンカー）」などを地域の皆さんが一堂に会して、和気あいあいに堪能しました。

参加された皆さんの笑顔と話しぶりから

- ①地域全体が一体となり、横の絆を結びつけています。
- ②地域住民が企画運営に関わることで、災害時など互いを助け合う共助の意識が醸成されています。

（広報委員 永井 行男）



地元幼稚園児による感動の演奏



地元の皆さんを中心にバンド演奏

第6地区コミュニティ 第8回防災訓練



簡易トイレの使い方（講座内容）

令和7年10月19日（日）、古河第六小学校の体育館に於いて第8回目の防災訓練を行いました。高齢者のことも考えて椅子に座っての防災講座に約200名の参加者がありました。

当日は防災講座の他に、「簡易トイレ」「凝固剤の使い方」「家具の設置のやり方」なども指導を頂き、大変役に立った防災訓練（講座）となりました。

（広報委員 関 一郎）

「姉妹行政自治会構想」への取り組み

古河市全体の防災協力体制作りの為のプラン、「姉妹行政自治会構想」が、令和6年7月の地域防災勉強会にて消防防災課より提起されました。以降、久能せせらぎ行政区はこれに参画する意思決定をし、いくつかの必要なステップを踏んで、「連絡・調整」の拠点として、安全面、立地面、周囲の避難所の位置等々考慮した結果、上大野行政区内の「上大野集落センター」を利用させていただき事になり、上大野行政区、消防防災課、久能せせらぎ行政区の三者立ち会いの下で、令和7年7月に「覚書」の締結、調印、交換を行いました。

ここに至るまでの、上大野行政区の皆様のご厚意とご協力、消防防災課のご指導とご支援をいただきまし

た事に心から感謝申し上げます。行政区では、この取り組みを区民の皆様に「万が一」への備えとしてご理解いただきたく、説明会を開催いたしました。

（広報委員 湯本 亨）



説明会実施状況

市内歴史散歩（第34回） 将門討伐本陣「日月神社」

日月神社は野木町に隣接する古河市東牛谷に所在し旧社格は村社です。

御祭神は^{おおひるぬむらのみこと}大日靈貴命と^{つきよみのいのち}月読命の二柱です。

大日靈貴命は^{あまてらすおおみかみ}天照大神、慈愛の恵にあふれた神、月読命は^{あまてらすおみかみ}天照大御神、^{すさのおのめこと}須佐之男命と共に三貴神とされ、国土の守護神農耕を守り医療の神といわれ、中世では武神として信仰があったとされております。

野木町赤塚に^{みかど}御門という地名がありますが、御門は将門のことであり“この地に暫し在陣した所なり”といわれております。

平将門が常陸国の公印と倉庫の鍵を奪ったことにより国家反逆とされ、更に下野国にも侵攻し、現在の坂東市方面に軍をすすめ陣を張ったことにより天慶の乱鎮定の勅命を奉じた下野国住^{しもつけのくにしゅうたわらのとうた}依藤太藤原秀郷が諸将と熟議をこらし、軍を進めここに本陣を定め錦旗を立て天神地祇を祭って戦勝を祈願。神明の御加護を賜り平将門討伐の大役を果たしたとされ、この時、天慶3年(940年)2月14日平将門没。

これを記念し錦旗の日月をとって社名とし創建されたとされております。

境内神社は稲荷神社がまつられており、明治40年に村内厳島神社を合併、昭和27年宗教法人として設

立しております。

日月神社祭礼につきましては、祈念祭4月6日、例祭（神輿渡御）7月15日、献穀祭11月19日となっております。

12月31日には古札等のお焚き上げを行っております。

行政区の方々をはじめ氏子の皆様により日常の管理及び運営をしていただいております、祭礼時には地元お囃子会の皆様の御協力のもとお囃子で盛り上げていただいております。

夏の神輿渡御は、各町内の皆様に御参加をいただき、^{だし}山車が御仮屋より神社境内迄歩き神輿と共に境内にて賑やかに催行しております。

（東牛谷行政区 関根 孝雄）



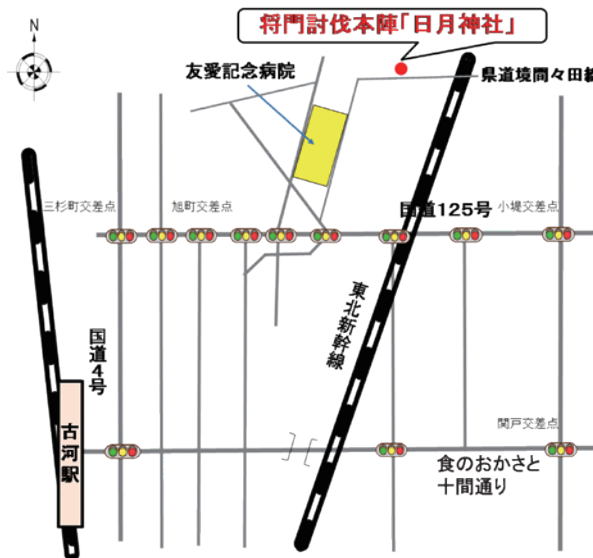
御朱印



日月神社



参道入口にある鳥居



編集後記

今年は午年で、十二支の七番目の干支です。午年は「飛躍」「前進」の象徴とされ、力強く駆ける馬のごとく、成長や成功を願うのに最適な年といわれます。また、60年に1度訪れる「丙午（ひのえうま）の年は天災が多く、凶年とされることも多いようですが、市民の皆さんには、今年が明るく、楽しく、健康でお過ごしできますよう心よりご祈念申し上げます。

（広報委員長 長濱 忍）

行政自治会広報委員会

委員長	長濱	忍
委員	秋山	和彦 関 一郎
	小野	等 船橋 敏夫
	鎌仲	英俊 湯本 亨
	関根	徹 梅津 信男
	永井	行男

お詫びと訂正

行政自治会だより第42号2ページ「第16回行政自治会親善バレーボール大会」の記事において、4人制ソフトバレーボールの結果に一部誤りがありました。下記の通り訂正し、お詫びいたします。

【誤】 Bブロック 駒羽根行政区A → 【正】 Bブロック 駒羽根住宅団地A